



特許願

昭和50年 7月 29日

特許庁長官 斎藤英雄

1. 発明の名称

活性化した物質を高配合した配合化学肥料

2. 発明者

住所(固所) 岐阜県郡上郡八幡町小野10番地

氏名 フモト 俊輔

3. 特許出願人

住所(固所) 岐阜県郡上郡八幡町稻成15番地

氏名(法人名) 八幡化学工業株式会社

(固有) 代表取締役 横田 俊輔

4. 代理人 人手料

住所 岐阜市赤坂町16番地

氏名 (4334) 武藤六三郎

(注記) (姓) (名)

方式(査定) 50 092246

⑯ 日本国特許庁

公開特許公報

⑮ 特開昭 52-16363

⑯ 公開日 昭52.(1977) 2.7

⑰ 特願昭 50-92246

⑱ 出願日 昭50.(1975) 7.29

審査請求 有 (全2頁)

府内整理番号

6812 49

⑲ 日本分類

4 A2

⑳ Int.Cl²

C05G 3/00

内
容
概
要

1. 発明の名称

活性化した物質を高配合した配合化学肥料

2. 特許請求の範囲

化学肥料に適量の活性化した粉粒状の物質を混合したことを特徴とする配合化学肥料。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、化学肥料に適量の活性化した粉粒状の物質を混合し、肥料の効果を向上する配合化学肥料に関するものである。

従来、既安、尿素系肥料等の化学肥料は単独又は複数を組合せて土壌に散布して施肥していたが、雨水等による流失により甚だ不経済であつた。

本発明は、上記の欠点を除去すると共に

更に肥料の効果を高める配合化学肥料に係るもので、その構成を説明すると

各種植物から得られる木炭又は石炭を原料とし、活性炭の如く無味、無臭、無害で表面積の極めて大きな多孔性の粉粒体状の活性化した物質の適量を既安、尿素系等の化学肥料に混合した配合化学肥料である。

本発明による配合化学肥料は、活性化した物質の吸収力を利用したもので、作物に施肥すれば土壌中に散布された化学肥料の有効成分を吸収し、雨水等による流失を防止し肥料の持続性を高め、土壌中に発生する有害ガスを吸収すると共に活性化した物質が黒色であるから太陽熱を吸収して土壌の温度を高め、作物の健全な生育を促進し、且つ、肥料が経済的に使用される等の実

用的効果は甚だ大なるものである。

以上
 特許出願人 松本俊連
 代理人 弁理士 武春六三郎
 六川詔勝

5. 添付書類の目録

(1) 明細書	1通
(2) 附圖一通	1通
(3) 願書原本	1通
(4) 委任状	1通
(5) (審査請求書)	1通

三式
 二式
 申六四

6. 前記以外の発明者、特許出願人または代理人

代理人 〒500

岐阜市弥八町16番地

47388 西山開元
 (7694) 六川詔勝